

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前，メールアドレス，添付資料を除き，HP等で公表します。また，ユネスコスクールの質の確保の観点から，報告書の内容が一定の基準に満たないもの，報告書が未提出の場合には，ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので，あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 清心中学校・清心女子高等学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等教育学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他（中高一貫教育）

住所 〒701-0195  
岡山県倉敷市二子1200

E-mail : Kurashiki@nd-seishin.ac.jp

Website : http://www.nd-seishin.ac.jp

児童生徒数：男子 0名 女子 707名 合計 707名  
 児童・生徒の年齢 13～18歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ ）

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため，活動内容については，添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

① サンショウウオの飼育，デンジソウの繁殖など

生物教室でサンショウウオを飼育しながら，その産卵から成長していく様子を調べ，まとめた。また学校周辺で捕獲したミシシippアカミミガメに電波発信器を取り付けて放し，その行動を調査するとともに個体数を調べて日本固有のクサガメとの比較をした。また，絶滅危惧種のデンジソウの栽培を生物部が年間を通して行い，学会や高校生対象の発表会等で発表した。

- (1) 中国四国地区生物三学会合同大会（徳島大会）優秀プレゼンテーション賞  
「オオイタサンショウウオの人口受精と発生段階」
- (2) 第57回日本学生科学賞岡山県審査 岡山県教育委員会教育長賞  
生命科学コース 時間生物学グループ
- (3) 第77回日本植物学会 高校生ポスター賞 優秀賞  
「植物就眠運動自動記憶システムの開発」
- (4) 日本動物学会第84回大会  
「オオイタサンショウウオの人口受精と発生段階」
- (5) 第11回 JSEC 高校生科学技術チャレンジ 優等賞 インテル奨励賞

② 身近な水田・湖沼の自然観察（4月27日・9月28日）

中学3年生を対象に岡山県自然保護センターにて2回にわたって，動物・植物の観察を行った。センター職員の指導の下で動植物の種類や見分け方や特徴等を学び，自然環境の大切さを学んだ。事後の活動として，興味を持った動植物についてレポートにまとめた。

③ 森林の自然調査（7月29日～8月2日）

生命科学コースの高校1年生を対象に鳥取大学農学部附属の蒜山フィールドサイエンスセンターにて森林調査等を行った。鳥取大学農学部と連携して，蒜山地域の動植物の観察から，枝打ち体験や樹高や樹齢の測定，さら火入れ地域の植生の観察をした。大自然に入る抵抗感が緩和され，森林に親しみ，森林の果たす役割を認識できた。

④ 海洋の自然調査（10月1日～5日）

生命科学コースの高校2年生を対象に沖縄の琉球大学熱帯生物圏研究センター等で亜熱帯の動植物の観察や実習を行った。

⑤ 女子生徒による科学研究発表交流会を開催（10月26日）

福山大学社会連携研究推進センターにて，本校の生徒に加え，課題研究に取り組む全国の中学校・高等学校の女子生徒を集めて，科学研究発表交流会を行った。約200人の女子中高生が集まり，ポスター発表で交流を深めたほか，女性研究者の講演などロールモデルにも触れた。

⑥ 環境学習を中心とした中学での海外研修（7月6日～20日）

中学3年生がオーストラリア約2週間のホームステイを実施し，環境保護に積極的な市民の姿勢を知るとともに，日本では見ることのできない多雨林群を観察した。さらにアボリジニー文化など異文化理解が進んだ。この研修で学んだことを秋の文化祭で発表した。

⑦ 環境学習を中心とした高校での海外研修（3月24日～4月2日）

生命科学コースの高校1年生とその他の希望者がマレーシア国（ボルネオ島）サバ大学と連携して9泊10日の研修を行った。サバ大学では講義を受けると共に、蒜山の森林調査の結果を英語で発表する。大学生と環境問題を中心に英語で話し合う。日本とは全く植生の違う熱帯林の観察や調査を行い、国際的な視点で環境問題を見る眼を養う。

⑧ 「女性」をテーマとした授業

高校2年生文理コースを対象に、「現代社会とジェンダー」等、女性に関わる問題をテーマに週2時間の授業を行った。テーマごとに姉妹校のノートルダム清心女子大学の講師が講義をした。文化祭では「赤ちゃんポスト」についてのディベートを公開した。授業を通して女性に対する諸問題に気づき、自分の問題として捉え、最終的には各自がテーマを絞ってプレゼンテーションをした。

⑨ 人権教育『女性への抑圧』（ロングホームルームの時間）

ESD教育の一環として高校1年生を対象に人権学習を実施した。世界各地で「人工的な性差」によって女性の機会が奪われていることや、世界各地でさまざまな原因や社会状況の中で貧困状態に置かれてしまう人々が居ること、実在するインドの女の子の状況について知ることで、途上国で女性が陥っている負の連鎖などについて考えた。そこで、女性のエンパワメントにより多くの諸問題の解決に影響が期待されていることを再認識した。

⑩ スカイプミーティング（オランダ Were DI School, OPEDUCA Project）

- (1) 4月10日（水）それぞれの学校紹介，質疑応答
- (2) 12月 9日（月）ア)オランダの水事情や課題などの発表  
イ)本校の生徒による日本の地震・津波などの説明

⑪ ESD高校生フォーラム世界大会のための準備セミナーへ参加

平成26年11月に岡山市で開催される高校生フォーラム世界大会の開催に向けて、平成24年度より準備セミナーに参加している。生徒は、運営，議長団，記録係などで、それぞれが主体的に活動をすることができた。

- (1) 6月 9日（日）大阪府立大学 i-site なんば
- (2) 7月14日（日）岡山市中央公民館
- (3) 8月17日（土）～18日（日）大阪府立大学 i-site なんば
- (4) 10月 6日（日）大阪府立大学 i-site なんば
- (5) 10月13日（日）大阪府立大学 i-site なんば
- (6) 11月2日～4日 『アジア・太平洋地域 ESD 高校生フォーラム in 堺』
- (7) 11月24日（日）岡山市中央公民館
- (8) 12月22日（日）岡山市中央公民館
- (9) 1月11日（日）『ユネスコスクール世界大会岡山プレフォーラム』

